

新たな沖縄振興のための制度提言 【概要版】



令和3年4月

沖 縄 県

【1】「新たな沖縄振興のための制度提言」について

3次にわたる
沖縄振興開発計画

社会資本整備を中心とする格差是正

高率補助制度、沖縄振興交付金制度、沖縄関係税制及び政策金融等の特別措置を活用

沖縄振興計画及び沖縄21世紀ビジョン基本計画

民間主導の自立型経済の構築を基本方向の一つとして施策の展開

沖縄21世紀ビジョン基本計画等総点検報告書 《令和2年3月》

- これまでの沖縄振興策の展開によって多くの成果があがっている。
- 一方で、県民所得の向上等は未だ十分ではなく、自立型経済の構築はなお道半ばにあるとともに、離島の条件不利性、米軍基地問題等の沖縄の特殊事情から派生する固有課題や子どもの貧困の問題、雇用の質の改善等の重要性を増した課題、新たに生じた課題等も明らかとなっている。

総点検の結果や新沖縄発展戦略、沖縄らしいSDGsを踏まえ、拡充又は創設が必要な制度を取りまとめ

沖縄振興のための制度提言（中間報告）《令和2年11月》

中間報告について

- ⇒ 県民、市町村及び関係団体に対して意見募集を実施し、幅広い意見を収集。
- ⇒ 令和3年1月に県議会新沖縄振興・公共交通ネットワーク特別委員会において審査。

県民、市町村、関係団体の意見を勘案

沖縄振興のための制度提言《令和3年4月公表予定》

【2】「中間報告」からの「制度提言」の主な変更点

制度提言（中間報告）

32の分野において、
拡充又は創設が必要な
118制度を整理

32の分野：環境保全や保健医療、離島振興、基盤整備など「沖縄21世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)等総点検報告書」(令和2年3月沖縄県)の第2章の「2 これまでの沖縄振興の分野別検証」を参考に分類している。

拡充又は創設を要望する制度について、「現状・課題」と「必要性」を説明。

制度概要は、県民や市町村、関係団体への説明を目的に記載。

複数の分野にまたがる制度については、それぞれの分野に再掲。(再掲を含め157制度)

制度提言

○ 拡充又は創設が必要な制度

- ・ 「新たな振興計画(骨子案)」で示された計画体系(5つの将来像の下、33の基本施策と111の施策展開)に沿って65制度に集約。
- ・ 「沖縄振興交付金制度」及び「離島活性化推進制度(沖縄離島活性化推進事業の制度化)」を追加。
- ・ 「沖縄地域創生投資促進税制」については、喫緊の需要が見込めないことから取り下げ。

○ 継続を要望する制度

沖縄振興特別措置法の各条文で講じられている高率補助制度等の24制度。

○ 「現状・課題」と「必要性」の説明に加え、制度の活用によって「目指すすがた」を記載。

○ 国へ拡充または創設を求める制度の内容を、より明確に記載。

○ 複数の施策展開にまたがる制度については、関連する施策展開を記載し、原則再掲しない。

(参考)「中間報告」からの「制度提言」の主な変更点等

「新たな振興計画(骨子案)」で示された計画体系に沿って、「中間報告」に掲載した118制度を65制度に集約。
※5つの将来像の下、33の基本施策と111の施策展開に整理

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にす島を目指して
基本施策	(2) 自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用
施策展開	ア 生物多様性の保全・継承

提案する制度名 自然環境の保全再生支援促進制度

財政特例	規制緩和	要件緩和	税制優遇	その他
○	—	—	—	○

提案する制度の活用によって、「目指すすがた」を追記。
■ 本県の緑豊かなやんばるの森や島々、サンゴ礁が発達した広大な海域等、多くの固有種や希少種が生育・生息する生物多様性に富んだ豊かな自然環境を保全・再生し、次世代に継承する。

制度概要



SDGsの17のゴールを記載

<自然環境の保全再生支援>

1. 自然環境の保全及び再生(沖縄振興特別措置法第84条の3)を努力規定から義務規定に強化する。【拡充】【その他】
2. 県及び市町村が実施する次の取組に対して、国の財政支援(国庫補助率8/10)を創設する。【新規】【財政特例】
 - (1) サンゴ礁、藻場、干潟、河川、森林・原野等の自然環境の保全及び再生
 - (2) サンゴ礁、藻場、干潟及び河川等に蓄積した赤土等の除去
 - (3) 希少動植物の保護
 - (4) 外来種対策
 - (5) 環境教育の取組

<うちなーロードセーフティ事業>

1. 希少な野生生物を保護するため、道路整備完了路線において、県及び市町村が次の道路施設の整備に要する経費に係る国の財政支援(国庫補助率8/10)を創設する。【新規】【財政特例】
 - (1) 横断ボックス、小動物警戒標識及び小動物保護側溝

<国立自然史博物館の設立>

1. 沖縄振興特別措置法に次の規定を追加する。【新規】【その他】
 - (1) 沖縄に国立自然史博物館を設立する。
 - (2) (1)で設置した施設の運営に係る次の基本的な事項

「中間報告」では個々に掲載していたが、目指すすがたが同じものは、一つの制度に集約

■ は、変更点。□ は、変更なし。

国へ要望する内容を明確にするため、中間報告よりも具体的に記載

提案する制度について、要望する内容を分類

提案する制度の現状と課題を、沖縄の特殊事情を踏まえ記載。

提案する制度を要望する必要性を記載

提案する制度を担当する部名・課名を記載

- ア 自然史科学の研究の集積や国際的な拠点の形成
- イ 自然史科学の研究を行う関係者間の連携の促進
- ウ その他必要な措置

【沖縄らしいSDGsの優先課題:P3-⑦、P5-⑫】

提案する制度に関連する沖縄らしいSDGsの優先課題を記載

現状課題

- 沖縄県は、亜熱帯海洋性気候の下、サンゴ礁が発達した青い海と貴重な野生生物が数多く生息・生育する緑豊かな島々から構成され、固有の自然環境を有している。
- 沖縄の自然環境が育んでいる多様な生物と生態系は、文化・産業・防災等の面において多くの恩恵を与える一方、人的活動や地球温暖化を一因とする気候変動の影響等を受けやすいほか、人為的な移動や人や物の移動が活発になることによる非意図的な外来生物の侵入により、沖縄の貴重な動植物の生息・生育に影響を与えている。
- 特に生物多様性の極めて高い沖縄島北部及び西表島の世界自然遺産登録を目指す中で、遺産価値の保全と適正な利用の両立を図る必要がある。
- 近年、生息域や生態系の変遷に伴う道路通行車両の増加など、様々な要因からロードキルが発生しており、道路環境の改善等によるロードキル抑制が課題となっている。
- 沖縄県の位置する南西諸島は、生物多様性の宝庫であるとともに、地質学的、気候帯的に重要な地域として世界から関心が寄せられており、日本学術会議では国立自然史博物館を本県に設立する構想に掲げている。沖縄県では国立自然史博物館の設立・誘致に向けて、シンポジウムを開催するなど機運醸成に努めており、その実現への期待が高まっている。

必要性

- 自然環境の保全及び再生に向けては、人口や観光客の増加、さらには経済活動の進展など沖縄を取り巻く社会経済環境が変化中、沖縄の豊かな自然環境を劣化させるとなく次世代に引き継ぐため、沖縄振興特別措置法において義務規定へ強化するとともに、サンゴ礁をはじめとする自然環境の再生・再生や、ロードキルなどから貴重な動植物を保護・保全する取組を強化していくには、国による財政支援制度等を法律に位置付け、国、県が連携して推進していくことが必要である。
- 東アジア・東南アジアの中心に位置する沖縄に国立自然史博物館を設立することで、東アジア及び東南アジア全体の自然史科学を支える拠点として国際貢献に大きく寄与する。また、世界自然遺産登録を目指す沖縄島北部及び西表島を含む生物多様性の極めて高い沖縄に設立することにより、世界的に類のない展示と自然のフィールドを活かした研究・調査、人材育成、新しい魅力要素としての観光拠点として多大な貢献が期待されることから、沖縄振興特別措置法において明確に位置付けていくことが望まれる。

担当部課

環境部 自然保護課、環境保全課、環境再生課、土木建築部 道路管理課

関連する施策展開

- 1-(2)-イ 水域・陸域・大気・土壌環境の保全・再生
- 1-(3)-ア 海洋環境の保全及び利活用

複数の施策展開にまたがる制度は、主な施策展開に記載し、原則再掲せず、関連する施策展開を末尾に追記。

【3】 制度提言の一覧 ①

将来像	提言する制度
すべての将来像に関連	1 沖縄振興交付金制度の継続 2 民間活力を活用したSDGsによる課題の解消推進制度
将来像1 沖縄らしい自然と歴史、 伝統、文化を大切にする島 を目指して	3 島しょ地域の特性を踏まえた持続可能な資源循環構築制度 4 島しょ型エネルギー社会基盤形成制度 5 自然環境の保全再生支援・促進制度 6 赤土等流出防止対策制度 7 沖縄文化の保存・継承・活用支援制度 8 「空手の聖地・沖縄」の形成に向けた支援 9 首里城復興推進制度 10 沖縄らしい景観形成支援制度
将来像2 心豊かで、安全・安心に 暮らせる島を目指して	11 沖縄の子どもの未来を創造する総合支援制度 12 黄金っ子(くがにっこ)応援特別制度 13 県民の健康づくりを推進する道路環境の整備 14 医療提供体制確保支援制度 15 薬剤師確保対策制度 16 新興・再興感染症等発生時における社会経済活動維持のための社会的検査体制の推進 17 沖縄県の国民健康保険事業に対する財政支援制度 18 都市公園の整備促進 19 情報通信基盤強靱化関連制度 20 離島住民等交通コスト負担軽減制度 21 水道広域化促進支援制度 22 離島等における福祉サービス提供体制の確保支援制度 23 離島航路・航空路の維持確保支援制度 24 離島活性化推進制度 25 社会基盤等の防災対策の推進 26 社会基盤等の長寿命化対策 27 米軍活動に起因する環境問題への対応 28 残された戦後処理問題の解決の推進
将来像3 希望と活力にあふれる 豊かな島を目指して	29 産業基盤の高度化・効率化による「稼ぐ力」の向上支援制度 30 生産性向上促進制度 31 観光受入体制強化支援制度 32 質の高い観光地形成のための支援制度 33 「スポーツアイランド沖縄」の形成に向けた支援制度 34 沖縄路線航空機に係る航空機燃料税、着陸料及び航行援助施設利用料の軽減措置

拡充又は創設を要する制度

【3】 制度提言の一覧 ②

	将来像	提言する制度
拡充又は創設を要望する制度	将来像3 希望と活力にあふれる 豊かな島を目指して	35 情報通信産業振興地域・特別地区 36 国際物流ネットワーク強化支援制度 37 国際物流拠点産業集積地域制度 38 沖縄イノベーション特別地区 39 科学技術振興制度 40 健康・医療・バイオ産業拠点形成の促進 41 経済金融活性化特別地区 42 島しょ県における産業動物獣医療提供体制整備 43 特殊病害虫対策制度 44 農林水産物条件不利性解消制度 45 沖縄製糖業の経営基盤強化・高度化推進制度 46 農林水産業の担い手の育成・確保と収益力の強化支援制度 47 漁港の衛生管理体制の強化 48 農山漁村地域振興制度 49 ものづくり産業振興制度 50 亜熱帯地域における建設技術の研究開発の促進 51 外国人材の活躍促進と受入環境の整備 52 特定求職者雇用開発助成金における「沖縄若年者正規雇用促進コース(仮称)」の創設 53 港湾の拠点機能及びネットワークの強化拡充支援制度 54 沖縄鉄軌道の整備 55 シームレスな陸上交通体系の整備支援制度
	将来像4 世界に開かれた交流と 共生の島を目指して	56 グローバルグリーンアイランドサミット(GGIS)推進制度 57 離島の旅館業に係る特例措置の拡充
	将来像5 多様な能力を発揮し、未 来を拓く島を目指して	58 学校教育の充実及び安全・安心な学校づくりのための総合支援制度 59 デジタルトランスフォーメーション(DX)による新たな学習環境構築に係る支援制度 60 国際性に富む人材育成(留学)制度 61 離島の教育環境向上支援制度
	固有課題	62 跡地利用推進法の延長及び改正 63 沖縄振興開発金融公庫の存続
	復帰特別措置	64 沖縄県産酒類に対する酒税の軽減措置 65 揮発油税及び地方揮発油税の軽減措置

【3】 制度提言の一覧 ③

継続を要望する制度

- | | | | |
|--|---|---------------|---------------|
| 1 海外における宣伝等の措置 | 2 国際会議等の誘致を促進するための措置 | 3 環境保全型自然体験活動 | |
| 4 農林水産業の振興 | 5 沖縄振興開発金融公庫の行う新事業創出促進業務 | 6 沖縄失業者求職手帳制度 | |
| 7 地域雇用開発促進法の特例 | 8 人材の育成等 | 9 地域文化の振興 | |
| 10 子育ての支援等(青少年であつて障害を有するもの、その他困難を有するものの支援) | | | |
| 11 国際協力及び国際交流の推進 | 12 地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置(畜産業、水産業若しくは薪炭製造業) | | |
| 13 国の負担又は補助の割合の特例等 | 14 沖縄の道路に係る特例 | 15 沖縄の河川に係る特例 | |
| 16 沖縄の港湾に係る特例 | 17 国有財産の譲与等 | 18 地方債についての配慮 | 19 沖縄振興審議会の設置 |
| 20 土地の利用についての配慮 | 21 沖縄振興開発金融公庫の特別勘定等による区分経理 | | |
| 22 港湾施設用地の取得に係る国の無利子貸付 | | | |
| 23 地方税の課税免除又は不均一課税に伴う地方交付税による減収補填の経過措置 | 24 河川の国直轄代行に係る経過措置 | | |

【4】 提言する制度の区分・分類

	制度数	区分別			分類別						
		創設	拡充	継続	財政特例	規制緩和	要件緩和	税制優遇	その他		
I 制度提言(拡充又は創設)	65	104	55	31	18	131	60	8	14	16	33
すべての将来像に関連	2	2	1	0	1	4	2	0	0	1	1
将来像1 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に する島を目指して	8	14	8	4	2	18	8	2	1	1	6
将来像2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指 して	18	29	17	8	4	28	18	1	1	1	7
将来像3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して	27	45	23	15	7	66	25	5	11	9	16
将来像4 世界に開かれた交流と共生の島を目指して	2	3	1	1	1	3	2	0	0	1	0
将来像5 多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指 して	4	5	4	0	1	5	4	0	0	0	1
固有課題	2	4	1	1	2	5	1	0	1	1	2
復帰特別措置	2	2	0	2	0	2	0	0	0	2	0
II 制度提言(継続分)	24	24	0	0	24	24	5	0	0	0	19
合 計	89	128	55	31	42	155	65	8	14	16	52